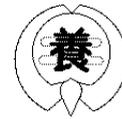


12月

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和6年11月22日

ほめるということ

校長 小笠原 雅和

「ほめて伸ばす」とよく言います。もちろん、人をほめるためには、その人のことを知らなければなりません。ほめられると人はうれしくなります。ここで、「ほめる」ということの意味を考えてみました。

1. ほめることが人のやる気を引き出す。
2. ほめることで絆が深まる。
3. ほめると幸せな気持ちになる。
4. ほめられた人は自分の価値や居場所を見いだすことができる。

ほめることは、ほめた側、ほめられた側の双方を幸せな気持ちにします。そして、お互いのコミュニケーションをより深めることにつながります。さらに、ほめられた側が自分の価値や居場所を見いだすことは、自己肯定感や自己有用感につながります。

先日、本校の学習発表会が開催されました。日頃の学習の成果を発表する機会でしたが、当日に向けて一生懸命に自分の役割や動きを覚え、取り組んだ姿に感動しました。たくさんの声援や拍手を受けた子供たちは、自己肯定感や自己有用感を得たに違いありません。

【青森県特別支援学校技能検定・発表会】

去る10月23日(水)新青森県総合運動公園マエダアリーナで行われました。

高等部がない本校ではあまり馴染みはありませんが、県内の高等部生徒が一堂に会して、生徒たちの社会的自立に向けた意欲を高め、夢や志を育むことを目的に、職業技能部門(清掃分野、接客サービス分野、PC 入力分野、農業分野)とコミュニケーション部門(プレゼンテーション発表分野、パフォーマンス発表分野)の検定や発表にチャレンジしました。

本校からは、日頃の学習成果の展示として、学校紹介と中学部の作業班の製品展示をしました。

来年度も開催予定です。青森なのでちょっと遠いですが、高等部での学習を知る上でも、一度御覧になってみてはいかがでしょうか。



【御礼】

16日(土)に開催した学習発表会では、たくさんの保護者、御家族のみなさまに御来校いただきました。子供たちの日頃の学習を御覧いただきましたことに感謝いたします。ありがとうございました。